

5月21日(土) 商店街を盛り上げる手作り市

元浜町のゆう壺番街商店街で、地元産の野菜や手作り雑貨などを自動車で販売する「BooBooマルシェ」が開かれました。テントや自動車で作られたおよそ30の販売ブースが設けられ、手作りの雑貨やお菓子、採れたての地場産野菜などの販売のほか、頭皮マッサージや整体のブースも出店しました。お客さんと店員とが会話を楽しみながら商品を選べるのがマルシェの醍醐味。商店街に笑顔があふれました。



5月22日(日) さらに大きくなった大地のキャンパス

田んぼをキャンパスに見立ててアートを描く「田んぼアート」の田植えが、虎姫地域づくり協議会の会員や地元住民ら約100人が参加して行われました。夏を思わせる日差しが降り注ぐ中、子どもたちも裸足で田植えに参加し、苗を手植えする作業を体験しましたが、足で感じる泥の感触に大はしゃぎ。田植えだけでなく泥遊びも含めて楽しい体験となりました。

5月22日(日) 楽しく健康を考えました

市民の心と体の健康づくりを応援する「健康フェスティバル2016」が長浜バイオ大学で開催されました。NPO法人健康づくりO次クラブが主催するもので、血管年齢測定や骨密度測定、体のバランス測定など様々な健康チェックのブースに若い人から高齢者まで多くの人を訪れました。また、子どもたちが楽しめるちびっこひろばや飲食ブース、野外ステージも充実しており、家族連れで賑わいました。



5月28日(土) 昔ながらの懐かしい味を手作りで

浅井歴史民俗資料館で、「げんこつあめづくり体験」が開催されました。げんこつあめは、江戸時代に犬山城のお殿様が考えたもので、食べると力が出ることからその名がついたといわれています。この日は、子どもら約30人があざい歴史の会のメンバーの指導により、伝統的な製法を学びました。子どもたちは家でも作りたいと話していました。

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews> 「長浜 ほっとにゅーす」 検索

5月29日(日) 恋人の聖地で絆深まる

昨年7月に恋人の聖地として認定された奥琵琶湖パークウェイつづら尾崎展望台で「恋するリボンフェスタ2016」が開催されました。二人ペアになって宝探しするなど恋人の聖地ならではの企画が用意されたほか、ステージイベントや恋やハートにちなんだメニューが並ぶフードコートなど多彩なコーナーが設けられ、恋人同士、家族連れなど多くの人で賑わいました。



5月29日(日) 楽しみながら国際交流

国際文化交流ハウスGEOで、国を超えた交流が楽しめる「フェスタ ミュージカルパーティ」が開かれました。誰でも気軽に参加できるのが魅力で、歌やダンス、腹話術、さらにブラジルやペルーのおいしい食べ物で、訪れた人々をおもてなし。メイクやクイックマッサージのリラックスコーナーのほか、出演者と参加者全員による大抽選会も催され、大いに盛り上がりしました。

6月4日(土) 城下町の賑わいを今に

長浜に息づく歴史や文化を発信し、城下町のまちづくりに取り組む人たちの情報交換の場にしようと、今年も「近世城下町ふるさとまつり」が開催されました。長浜火縄銃大会で幕を開け、秀吉を筆頭とする武将パレードや特別メニューが楽しめる楽市楽座&HAMAバルが催されたほか、近世城下町トークライブやコンサートなども人気を集め、多くの人で賑わう2日間でした。



6月5日(日) 先人の偉業を学び、讃える

度重なる余呉川の氾濫から村人を守ってきた先人たちの偉業を讃える、恒例の「西野水道まつり」が高月町西野で開催されました。西野水道は約170年前、洪水を防ごうと5年がかりで西山の麓を250m掘り抜いて完成したものです。まつりでは、古保利小学校5年生による「水道劇」や、石工や村人に扮した時代行列も行われ、地域の歴史を学びながら楽しみました。